

ん んから始める

実は、イロハ歌留多に「ん」はない。そもそも現代日本語には「ん」から始まる言葉は無いとされる。沖繩には琉球語として「ん」から始まる言葉がいろいろあるようだが。イロハ歌留多では「ん」のかわりに「京」が使われている。「京に田舎あり」（京都版）あるいは「京の夢大阪の夢」（江戸版）とされている。それぞれの意味については自分で調べて欲しい。なぜ最後が「京」なのかについても諸説あるようだ。

まちづくりイロハ歌留多でも最後を「京」にしてもよかったのだが、どうもじっくりする言葉が浮かばなかった。だからといって「ん」ではなおさら難しいところなのだが、そこは「んから始める」と謎の言葉で締めくくってみた。その言葉が何を示しているか自分でも謎なのだが、とにかくそうしてみても意味を考えることにした。

「んから始める」と決めたままでは良かったが、何か意味がありそうでいてなかなか良いアイデアが浮かんでこない。そこで、事務所のスタッフに聞いてみた。優秀な彼らは二つの解釈を示してくれた。

一つは「ん？から始める」。何事も先入観を持たずに「なぜ？」、「どうして？」という問いかけから始めようという意味のようだ。確かに物事に疑問を持つということは探究の第一歩だ。探究の先に真理が、とまでは言わないが、探究の先に気づきがあり発見があるのは間違いない。そうやって課題の本質に近づくのは大切だ。

もう一つは「ん＝最後」から発想するということだ。まず、こうなると良いという将来像を描き、それにどのようなように近づいていけるかを考える。近年は想定していなかったことがいろいろ起る。今までの延長線に将来を描くのでは対応できない。そうであれば、望まれる将来像を描き、現在の状況を踏まえながらそれに近く道筋を描こうということのようだ。

いずれも、なるほどと思わせる。皆さんなら「んから始める」をどう解釈するのだろうか。そう考えると、この「まちづくりイロハ歌留多」の一枚一枚の言葉を一人一人が考えてみるのも面白い。そうやって、まちづくりのキーワードが豊富化するとこれから続く人たちにも何かの役に立つかもしれない。